

的場委員（民主県政会）

令和6年3月6日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）今年度の教職員の配置状況と「教員採用の中長期計画」の達成状況について

今年度の教職員の配置状況において、学校現場で欠員は生じていないのか、また、現在の「中長期計画」の達成状況と課題について、併せて教育長の所見を伺う。さらに、達成状況や課題を踏まえた次期計画を作る必要があると思うが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

教員の未配置の状況につきましては、令和5年4月6日の学級開き時点及び5月1日時点では、該当がなかったものの、9月1日時点では、年度途中での病気休暇の取得などにより、小中学校24件、県立学校14件の計38件の未配置が生じたところでございます。

また、教員の中長期採用計画に基づく欠補率につきましては、令和5年5月1日時点で、小学校は3.7パーセントと目標達成が見込まれるものの、中学校は5.2パーセント、高等学校は2.6パーセント、特別支援学校は10.6パーセントと、目標達成が困難な状況となっております。

その要因といたしましては、教員採用に当たって、これまで欠補率の目標達成が可能となる人数を計画的に公募してきたものの、受験者数の不足や辞退者が一定数生じたことなどにより、結果として公募数を下回っている状況がでございます。

また、こうした中で、未配置により児童生徒の学びに支障を来すことがないよう、臨時的任用教員の配置に努めているところでございます。

教育委員会といたしましては、引き続き、教員不足の解消に最優先で取り組むとともに、「欠補率」につきましても、最終年度の結果を踏まえ、要因分析などを行い、改善策も含め、具体の対策を検討してまいりたいと考えております。